

リサイクル計画書（詳細設計）

1. 事業(工事)概要

事務所名	
工事名	
施工場所	岡山市南区飽浦地内

2. 建設資材利用計画

建設資材	① 総利用量 ②+③+④	② 現場内利用 可能量	③ 再生材利用 可能量	④ 新材利用量	⑤ 再生資源利用率 (②+③)/①*100	備 考
土 砂	m3	m3	m3	m3	%	
砕 石	m3	m3	m3	m3	%	
アスファルト混合物	m3	m3	m3	m3	%	
	m3	m3	m3	m3	%	

- (注) 1 : 「③再生材利用可能量」には、他工事からの流用材も含む。
 2 : 最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

副産物の種類	⑥ 発生量	⑦ 現場内利用量	⑧ 他工事 への搬出量	⑨ 再資源化施設 への搬出量	⑩ スtockヤード への搬出量	⑪ 現場内利用率 ⑦/⑥*100	⑫ 有効利用率 (⑦+⑧+⑨+⑩)/⑥*100	備 考
発 生 土	砂・砂質土	m3	m3	m3	m3	%	%	
	レキ質土	m3	m3	m3	m3	%	%	
	粘性土	m3	m3	m3	m3	%	%	
	その他	m3	m3	m3	m3	%	%	
	計	m3	m3	m3	m3	%	%	
コンクリート塊	m3	m3	m3	m3		%	%	
アスファルト塊	m3	m3	m3	m3		%	%	
建設汚泥	m3	m3	m3	m3		%	%	
建設発生木材	m3	m3	m3	m3		%	%	
	m3	m3	m3	m3		%	%	

- (注) 1 : 土砂(建設発生土含む)の土量は、地山換算とする。
 2 : 建設発生木材の中には、伐開除根材及び剪定材を含む。
 3 : 「⑩ストックヤードへの搬出量」には、他工事に再利用されることが予定されている場合のみ記入する。
 4 : 建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。
 5 : 最下段には、その他の建設副産物を搬出する場合に記入する。